

III. 資料

教育委員会用

1. ご回答される方の役職及び都道府県をご記入下さい。

氏名 () 役職 ()
都道府県名 ()

2. 貴県の学習障害、ADHD、高機能自閉（アスペルガー症候群を含む）症等もしくはいずれかの障害が疑われる生徒の後期中等教育機関の在籍状況についてお尋ねします。

(1) 以下の機関において上記の障害のある（疑われる）生徒は在籍していますか。1名でも在籍が確認されている場合は有に○をつけてください。いない場合もしくはわからない場合は、無に○をつけて下さい。

	学習障害	ADHD	高機能自閉症等	いずれかの疑い
公立高等学校（全日制）	有 無	有 無	有 無	有 無
公立高等学校（定時制）	有 無	有 無	有 無	有 無
公立高等学校（通信制）	有 無	有 無	有 無	有 無
私立高等学校（昼間）	有 無	有 無	有 無	有 無
私立高等学校（定時制）	有 無	有 無	有 無	有 無
私立高等学校（通信制）	有 無	有 無	有 無	有 無
高等養護学校	有 無	有 無	有 無	有 無
養護学校高等部	有 無	有 無	有 無	有 無

(2) 中学校を卒業した後の学習障害、ADHD、高機能自閉症等の生徒の進路として、選択されることが多い後期中等教育機関はどこですか。多いと思われる機関について、3つまで○をつけて下さい。

- ①公立高等学校（全日制） ②公立高等学校（定時制） ③公立高等学校（通信制）
④私立高等学校（全日制） ⑤私立高等学校（定時制） ⑥私立高等学校（通信制）
⑦高等養護学校 ⑧養護学校高等部 ⑨その他 ()

(3) (2)で○をつけた機関の在籍状況について、情報がある場合には人数や学校名等ご自由に下記にご記入下さい。

--

3. 在籍が確認されている各機関の対応についてお尋ねします。これらの生徒に対して何らかの取り組みを行っている学校はありますか。1つだけ当てはまるものを選び、ご記入下さい。

- ①ある ②ない ③わからない ④取り組みを検討している

	学習障害	ADHD	高機能自閉症等	いずれかの疑い
公立高等学校				
私立高等学校				
高等養護学校				
養護学校高等部				

①④を選択した方にお聞きします。実施されている取り組み（検討しているを含む）について、各機関と対応づけて以下から選択し、下記表にご記入下さい（複数選択可）。

- ①個別で指導する時間をとっている ②個別の指導計画を作成している
③専門機関への相談・連携をはかっている ④専門家による巡回相談等の制度がある
⑤校内支援体制を整備している ⑥専門家チームに相談している
⑦盲聾養護学校の教員が相談等の支援を行っている
⑧カウンセリング等のできる教員や専門家を配置している
⑨その他 ()

	学習障害	ADHD	高機能自閉症等
公立高等学校			
私立高等学校			
高等養護学校			
養護学校高等部			

教育委員会用

4. 後期中等教育段階の軽度知的障害もしくは学習障害, ADHD, 高機能自閉症等の生徒への対応について, 県(もしくは市)として課題であると感じていることはありますか。

①はい

②いいえ

①と回答した方にお尋ねします。どのような課題を感じているか以下にご記入下さい。

課題の例	・支援体制を整備することが必要である ・移行に関するカリキュラムや体制作りが必要である ・具体的な指導内容・方法を明確にする必要がある ・自尊感情や自己効力感を高める対応が必要である
------	--

教育機関	課題として感じていること (上記対応例を参考にご回答ください)
公立高等学校	
私立高等学校	
高等養護学校	
養護学校高等部	

5. 4で回答していただいた課題を解決するために, 現在実施していることもしくは検討していることはありますか。ある場合には, 以下に自由にご記入下さい。

教育機関	対象	実施していること	検討していること
公立高等学校	学習障害		
	ADHD		
	高機能自閉症等		
私立高等学校	学習障害		
	ADHD		
	高機能自閉症等		
高等養護学校	学習障害		
	ADHD		
	高機能自閉症等		
養護学校高等部	学習障害		
	ADHD		
	高機能自閉症等		

ご協力ありがとうございました

教育センター用

I. ご回答される方の役職及び所属機関名をご記入下さい。

氏名 () 役職 ()
所属機関名 ()

II. 貴教育センターで行っている研修についてお尋ねします。

1. 貴教育センターでは、後期中等教育段階の学習障害、ADHD、高機能自閉症等（アスペルガー症候群を含む）の生徒に対応した研修を行っていますか。当てはまるものを一つ選び○を付けてください。

①行っている ②広いテーマの中で含めて行っている ③行っていない

(1) ①、②と回答された方にお聞きします。高等学校や養護学校高等部（もしくは高等養護学校）等の後期中等教育機関の教員が参加した研修内容はどのようなものでしたか。対象、内容別に参加した教員の所属を以下から選び、数字をご記入下さい（複数選択可）。また、学習障害とADHD等を同じ研修内で同時に扱ったような場合は、それぞれの障害種に重複させてご記入下さい。

①公立高等学校 ②私立高等学校 ③高等養護学校 ④養護学校高等部
⑤その他 ()

研修内容	学習障害	ADHD	高機能自閉症等
障害の特性に関すること			
アセスメントに関すること			
指導内容・方法に関すること			
個別の指導計画作成に関すること			
支援体制作りに関すること			
その他：			

(2) 上記の研修に出席した後期中等教育段階の教員の人数についてお聞きします。平成15年度の研修について、およその数で結構ですので、参加者のいた研修の数と参加人数の番号を以下から選択しご記入下さい。

研修の数：①1～2講座 ②3～4講座 ③5～6講座 ④7～8講座 ⑤9～10講座
⑥11講座以上（実数を表にご記入ください） ⑦なし

参加人数：①10名以下 ②11名～20名程度 ③21名～30名程度
④31名～40名程度 ⑤41名～50名程度 ⑥51名以上（実数を表にご記入ください）

	学習障害		ADHD		高機能自閉症等	
	研修の数	人数	研修の数	人数	研修の数	人数
公立高等学校の教員						
私立高等学校の教員						
高等養護学校の教員						
養護学校高等部の教員						

2. 貴教育センターに対して、高等学校や養護学校高等部等の後期中等教育機関の教員から学習障害、ADHD、高機能自閉症等の生徒に関する相談や質問はありますか。

①ある ②ない

①と回答した方にお尋ねします。どちらの機関の教員からどのような内容の相談や質問がありましたか。具体的にご記入下さい。

	具体的な相談・質問
公立高等学校	
私立高等学校	
高等養護学校	
養護学校高等部	

教育センター用

Ⅲ. 貴教育センターで行っている教育相談についてお尋ねします。

4. 後期中等教育段階の軽度知的障害もしくは学習障害、ADHD、高機能自閉症等の生徒（いずれかの障害が疑われる生徒も含む）に関する教育相談の申し込みはありますか。

①ある ②ない

①と回答した方にお尋ねします。平成15年度相談のあった生徒の在籍機関、障害種及び相談内容別の来談者数、全来談者数、延べ相談件数をご記入ください。複数の相談内容が含まれる場合はそれぞれの項目に複数ご記入ください。診断・判断が明確でない場合には「いずれかの疑い」にご記入下さい。また可能な場合は相談件数も合わせて下記にご記入下さい。

公立高等学校・私立高等学校に在籍する生徒

相談内容	学習障害	ADHD	高機能自閉症等	いずれかの疑い
学業に関する事	人	人	人	人
進路に関する事	人	人	人	人
友人関係に関する事	人	人	人	人
不登校に関する事	人	人	人	人
問題行動に関する事	人	人	人	人
その他：	人	人	人	人
全来談者数	人	人	人	人
延べ相談件数	件	件	件	件

高等養護学校・養護学校高等部に在籍する生徒

相談内容	学習障害	ADHD	高機能自閉症等	いずれかの疑い
学業に関する事	人	人	人	人
進路に関する事	人	人	人	人
友人関係に関する事	人	人	人	人
不登校に関する事	人	人	人	人
問題行動に関する事	人	人	人	人
その他：	人	人	人	人
全来談者数	人	人	人	人
延べ相談件数	件	件	件	件

Ⅳ. 後期中等教育段階の学習障害、ADHD、高機能自閉症等の生徒に対して、必要であると思う取り組みもしくは今後必要となると思われる取り組みについて、何かお考えがありましたらご自由にご記入下さい。

	必要であると思われること	必要となると思われること
学習障害		
ADHD		
高機能自閉症等		

ご協力ありがとうございました。

軽度発達障害のある生徒に対する後期中等教育段階の教育的支援 に関する調査研究

佐藤克敏・徳永 豊

(知的障害教育研究部)

注) 本論文は知的障害教育研究部軽度知的障害教育研究室一般研究「軽度知的障害のある生徒等の生活の質を高める指導に関する調査研究」(H11-13)の研究結果に対して加筆修正した後、独立行政法人国立特殊教育総合研究所紀要30巻に掲載したものである。